

ウォーターデザインとアラヤ：新サービス「新興国デザインリサーチ」

提供開始輸出関連企業の新製品開発をサポート

世界 45 言語の新興市場リサーチからデザイン・コンセプト作成まで

コンセプトからデザインまで革新的なビジネスをクリエイティブする株式会社ウォーターデザイン（本社：東京都渋谷区、代表取締役・コンセプター：坂井直樹、以下ウォーターデザイン）と、ドキュメントの多言語翻訳サービスを提供するアラヤ株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役 中嶋重富、以下アラヤ）は提携し、共同で新サービス「新興国デザインリサーチ」を本日から開始します。

「新興国デザインリサーチ」のサービス対象は、インドやブラジルなど経済成長が著しく消費者の購買行動が活発な新興市場向け輸出商品を製造する日本国内メーカーです。公の統計数字や学術文献あるいは既存の市場調査資料などでは把握できない、今この瞬間の現地の生活実態を調査し、そのデータを分析して、現地に適したデザインや機能を設計するための「デザイン・コンセプト」を提供するサービスです。調査地域や規模、調査項目は依頼主のメーカー毎のオーダーメイドです。この「新興国デザインリサーチ」を利用することで依頼主メーカーには、現地調査費用の削減や期間の短縮だけではなく、より深い市場ニーズや現地で歓迎されるアイデアが得られるというメリットがあります。

「新興国デザインリサーチ」では、これまで自動車や家電製品、携帯電話など数々のヒット商品のデザインを手がけてきたウォーターデザインの経験豊富なスタッフが、調査前に依頼主メーカーに対し綿密なヒアリングを行います。こうすることで、依頼主メーカーの目的に合った調査計画が立案できます。調査対象地域は、アラヤが翻訳サービスを行っている世界 45 言語が実際に話されている国と地域です。アラヤは、これらの地域で活躍している現地翻訳者約 400 人のネットワークを有しています。ここには中東や東南アジアはもちろん、中南米、アフリカ、旧ソ連から独立したタジキスタンやウズベキスタン等中央アジア諸国も含まれます。アラヤの現地翻訳スタッフは、パネル（調査協力者）の募集から調査の実施、集計までを管理、指揮します。調査終了後、データは東京のアラヤに集約され、ウォーターデザインが分析します。分析結果によりウォーターデザインは、依頼主メーカーが開発しようとしている製品の「デザイン・コンセプト」を作成します。「デザイン・コンセプト」とは、製品の外見だけではなく現地で必要とされる機能についての具体的な提案です。これには、キーワードやキービジュアル（開発のヒントとなりえる画像）を交えた解説も含まれます。依頼主メーカーは、この「デザイン・コンセプト」を、自社内で製品開発を行うときの指針として活用できます。さらに、ウォーターデザインでは、依頼主メーカーからの要望があればオプション・サ

ービスとして実際の製品設計にも参画します。「新興国デザインリサーチ」の基本料金は、現地調査から「デザイン・コンセプト」の作成までで1件あたり500万円です。価格は調査対象地域や調査方法、オプション・サービスの有無などにより変動します。ウォーターデザインとアラヤでは、5年後には年間売上5億円を見込んでいます。

【株式会社ウォーターデザインとは】

<http://www.waterdesignscope.com/>

設立：2004年7月 代表取締役・コンセプター：坂井直樹

オリジナル・コラボレーションブランド企画、コンセプトメイキング、プロダクトデザイン、ウェブデザイン・サイト構築、デザインコンサルティング&リサーチ等を行う。

【アラヤ株式会社とは】

<http://www.alaya.co.jp/>

設立：2004年4月 代表取締役：中嶋重富

テクニカルライティング、ドキュメントの多言語翻訳、ソフトウェアのローカライズ、ウェブコンテンツの制作・翻訳等を行う。